

授業計画書(シラバス)

教科名	キルンワーク II	曜日 時間	木曜日、金曜日 9:10～15:50	担当教員名	松藤 孝一
-----	-----------	----------	-----------------------	-------	-------

	前期指導案			後期指導案	
(年 2 間 6 授 回 業 〜 日	4月	14 15 21 22 28		10月	
	5月	12 13 19 20 26 27		11月	
	6月	2 3 9 10 16 17 23 24 30		12月	
	7月	1 14 15		1月	
	9月	2 15 16		2月	
方授 法業	(講義 ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	<p>以下の課題を通して授業を進めていく。 課題-キルンワーク:ガラス表現の探求 この課題は、ガラス表現の研究である。1年次に発見した素材や技法からスタートすることも可能で、学生が様々な角度から素材や技法を見つめ直し、表現としてのガラス研究に取り組む。 必ずしも、素材や技法ベースで始める必要もない、コンセプトをどうかたちで素材に転化できるのかも重要なアプローチである。視覚的に手を動かすだけでなく、思考的な要素も研究の対象である。 名古屋芸大での連携講評会、そして最終的に前期の全体講評会で完成度のある作品を発表する。</p>				
到 達 目 標	<p>この授業では、学生本人が研究題目を教員と相談しながら決める。その研究、また個人のレベルに合わせた目標を設定して行う。</p>				
成 績 評 価	<p>成績評価の基準は以下の通りである。 積極的な授業への参加／意欲的な学習態度／課題の完成度／個人の成長度／出席状況</p>				
留 意 事 項					